

みずほCustomer Desk Report 2024/07/02号(As of 2024/07/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	161.23
TKY 9:00AM	160.94	1.0735	172.76	GBP/USD	1.2648
SYD-NY High	161.72	1.0776	173.68	AUD/USD	0.6674
SYD-NY Low	160.65	1.0718	172.49		
NY 5:00 PM	161.49	1.0741	173.45		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,169.52	50.66	日本2年債	0.3500%	0.0000%
NASDAQ	17,879.30	146.70	日本10年債	1.0600%	0.0200%
S&P	5,475.09	14.61	米国2年債	4.7588%	0.0104%
日経平均	39,631.06	47.98	米国5年債	4.4305%	0.0619%
TOPIX	2,824.28	14.65	米国10年債	4.4702%	0.0791%
シカゴ日経先物	39,580.00	▲ 255.00	独10年債	2.6035%	0.1200%
ロンドンFT	8,166.76	2.64	英10年債	4.2830%	0.1120%
DAX	18,290.66	55.21	豪10年債	4.3800%	0.0290%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	10.16%	0.61%
上海総合	2,994.73	27.33	USDJPY 3M Vol	9.83%	0.30%
NY金	2,338.90	▲ 0.70	USDJPY 6M Vol	10.17%	0.24%
WTI	83.38	1.84	USDJPY 1M 25RR	▲0.56%	Yen Call Over
CRB指数	291.57	1.10	EURJPY 3M Vol	9.26%	0.00%
ドルインデックス	105.90	0.03	EURJPY 6M Vol	9.59%	0.01%

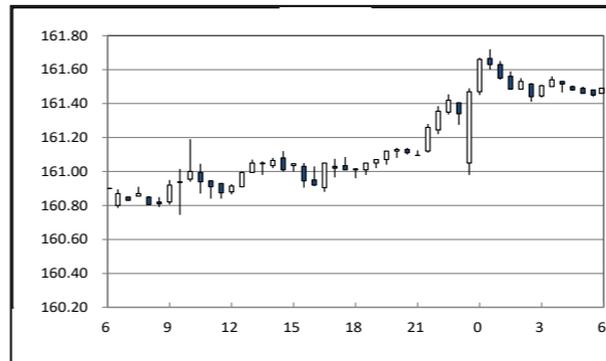
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月1日	08:50	日 短観 大企業製造業	2Q 13	11
	08:50	日 短観 大企業製造業予測	2Q 14	11
	08:50	日 短観 大企業非製造業	2Q 33	33
	08:50	日 短観 大企業非製造業予測	2Q 27	28
	08:50	日 短観 大企業全産業設備投資	2Q 11.1%	13.9%
	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	6月 51.8	51.5
	16:55	独 製造業PMI・確報	6月 43.5	43.4
	17:00	欧 製造業PMI・確報	6月 45.8	45.6
	21:00	独 CPI(前年比)・速報	6月 2.2%	2.3%
	22:45	米 製造業PMI・確報	6月 51.6	51.7
	23:00	米 ISM製造業景況指数	6月 48.5	49.1

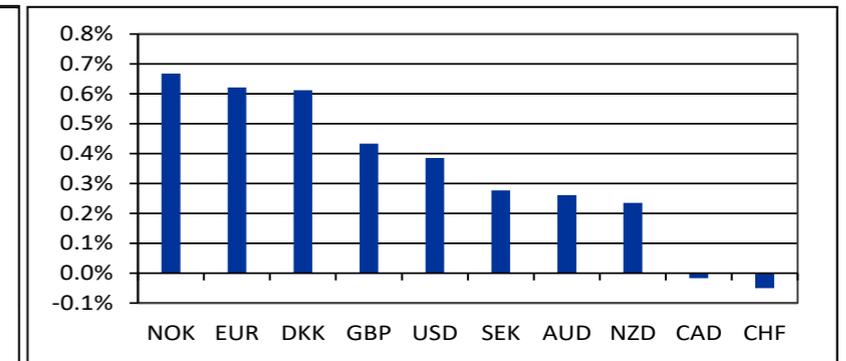
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月2日	18:00	欧 CPI速報値(前年比)	6月 2.5%	2.6%
	18:00	欧 CPI(前月比)・速報	6月 0.2%	0.2%
	18:00	欧 失業率	5月 6.4%	6.4%
	22:30	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	23:00	米 JOLT求人	5月 7950K	8059K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	160.50-162.50	1.0700-1.0800	172.50-174.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は年内高値を一段と更新し、堅調に推移した。日銀が発表した6月短観の大企業・製造業の業況判断指数が22年3月以来の高水準を記録するも、円買い材料とはならなかった。海外時間は米金利上昇を背景にドル円はじり高に推移。発表された米経済指標結果が予想を下回るも、結果的に高値161.72まで上昇。161.49レベルでクローズした。

本日のドル円も堅調な推移を予想。昨日発表された日銀短観の内容は力強い結果となったものの、日銀による7月会合での追加利上げ期待醸成の材料とはならず、また、米6月ISM製造業景況指数は市場予想を下回る結果であったが、市場のドル売りの反応は限定的となった。日銀による追加利上げ見送り観測とFRBによる金融引き締め長期化観測が、ドル買い円売り地合いを支えている。本日は米5月JOLTS雇用動態調査の発表が予定されており、前回同様市場予想を下回ったとしても日米金融政策の方向性の違いが再び意識される状況下、ドル円はこじっかりとした推移を予想する。

東京	160.94レベルで週初東京マーケットオープンを迎えたドル/円はユーロ/円や豪ドル/円の堅調に連れられ、公示仲値直前に東京高値となる161.19を示現。その後は日経平均が伸び悩んだことや米金利が緩む中でドル/円も一段の上値追いはならず、161.00を挟んで一進一退の展開。結局オープンと同水準となる160.95レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、160.95レベルでオープン。午後に米指標を控える中小動きだったが、全般にドル高。161.14まで上昇し161.12レベルでNYに渡った。仏選挙で極右政党の優位が報じられる中、仏株こそ上値重かったが、欧州株は全般に堅調で落ち着いた反応だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は160円台半ばでスタート。日銀が発表した6月短観の大企業・製造業の業況判断指数が22年3月以来の高水準を記録するも、特段の円買いとはならず。その後は米金利が上昇する展開を横目にじり高で推移し、161.12レベルでNYオープン。午前中は米金利が一段と上昇する動きから、161.50付近まで続伸。しかし、その後に発表された米6月ISM製造業景況指数ヘッドラインが予想を下回ると、市場は一転ドル売りで反応し、160.98まで反落。その後は押し目買いが入り、161.72まで反発。午後は上昇していた米金利が上昇幅を縮小した事を受け反落し、161.49レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。フランス議会下院選の第1回投票結果や、独、ユーロ圏6月製造業PMIが上方修正された事を受け、1.0776まで買われる。その後は小幅反落し、1.0749レベルでNYオープン。オープン直後に発表された独6月CPI(前月比)は予想を下回るも、ユーロドルは反応薄。続いて発表された冴えない米6月ISM製造業景況指数の結果から、一時1.0770まで戻すも、その後米金利が上昇する動きが重しとなり、1.0720まで反落。午後は小幅反発し、1.0741レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。